

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)	棚卸表コード	No.
作成日	7月22日	都市整備部	住宅整備課	住宅企画担当	-	-	-	2都住01	都整-9

業務名称	秋田市住宅マスタープラン推進事業等	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	建築物の質の向上及び市民が安心して住むことができる環境づくり。	良質で安全な建築物のストックが図られ安心定住できると考える市民の割合(アンケート調査)	-	70%		
担当業務目的	市民の快適な暮らしを支えるため、良質な住宅のストック・良好な住環境の整備を行う。	市民全体を対象とした住環境に関する満足度(アンケート調査)	-	50%	1.9人	14,889

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
01 誰もが安心して住み続けられる住まい・まちの形成				0	(1) 住宅のバリアフリー化の促進に関する啓発・情報提供について ・住宅のバリアフリー化の促進を図るため、平成15年度にリ・フレットを500部作成し、市民に配付し、啓発及び情報提供を行った。 (2) 相談窓口の設置について ・平成15年度から実施している。 ・平成16年度も引き続き実施し、改修事例・融資関係・施工専門業者等についての紹介等を行う。
住宅の安心居住の満足度	-	50%			
バリアフリー - 住宅の建設・改修の促進					
02 防災、健康に配慮した住まい・まちの形成				51	(3) 住宅の耐震診断・耐震改修の促進に関する啓発・情報提供について ・住宅の耐震診断・耐震改修の促進を図るため、平成15年度にリ・フレット・簡易耐震診断書・アンケート調査表を500部作成し、平成15年度及び平成16年度に、市民に対し配布を行う。 ・平成16年度も簡易耐震診断を引き続き実施する。 ・耐震診断の結果についてのアンケート調査を実施する。 ・アンケート結果に基づき、平成17年度以降の住宅の耐震診断・耐震改修の促進を図るための施策について検討を行う。 (4) 相談窓口の設置について ・平成15年度から実施している。 ・平成16年度も引き続き実施し、改修事例・融資関係・施工専門業者などの紹介等を行う。 (5) 住宅密集地の安全性の向上について ・住宅密集地の安全性の向上を図るため、特に住宅の密集度が高く、木造住宅の割合や、昭和55年以前に建築された住宅が多い地域及び道路が未整備(4m未満の道路)の地域を対象とし、地域住民の意向の反映及び防災意識の高揚を図るため、アンケート調査を実施する。 ・アンケート結果に基づき、平成17年度以降の地域の防災に関する住まいづくりの勉強会等の実施についての検討を行う。
住宅・まちの防災上の安全性に関する満足度	-	50%			
住宅の耐震改修の促進 住宅密集地の安全性の向上					
03 住宅地需要を踏まえた都市型社会の実現				14,838	(6) あきた街なかファミリー - 住宅の家賃補助について ・あきた街なかファミリー - 住宅の60戸の住宅供給者に対して家賃減額分の補助を行う。 (7) 公共賃貸住宅の入居者募集等に関する情報提供について ・市民に対する住情報提供のひとつとして、全国の様々な公共賃貸住宅の募集情報等を一元化し、総合的に提供することを目的に(財)住宅産業研修財団が行っている「公共賃貸住宅インフォメーションシステム」を活用し、市営住宅及びあきた街なかファミリー - 住宅の概要や募集に関する情報の提供を行う。 (8) まちなか居住の推進に関するアンケート調査について ・中心市街地等への居住需要等の実態を把握し、コンパクトシティ実現のため、アンケート調査を実施し、まちなか居住の推進を図る。
建設戸数(平成13年度で建設補助廃止)	60戸	-			
あきた街なかファミリー - 住宅の家賃補助 公共賃貸住宅の入居者募集等に関する情報提供 まちなか居住に関するアンケート調査					